

	第二高機室 明年4月15日 破船時係留室 半艤上同時二角附 多子作業第七次航行部隊第一航回 155×3 ch x 20)	(約) SS-5 マスハーネス破壊 1100~1600 セイの車輪 Y2トモトガラス 伸縮式 X 約30ト支張 2300 1E-1L (ホルモジ南方)= 実入 0140 墓地施設 3 時間= 続く 1430~1600 f ₀ x 6 セイ等進在航回三室通す 1530 27 20m向 部子X24ト支張 船内特徴除 9メートル進コツソル水道在航回 室用攻撃 敵機加企圖シ何等力方法ニ依リ 事務室壁紙四隅一色(朱色)
1235	↑ 254fg (海面島) 海面島 18E50'附近 航行船海上立基見好 去島×2 航橋前部二角中止及解体 洋子之ノ深浅水山	(母島時敵機出島又到入島) 要沈没確實
	HTF解体 12AP=千葉根端入 GF=立馬 5F ₃ GKF=8脚入 (12-4号動) 多子作業 第七次第一回、半艤進航路 (GB x 2隻 ch x 1隻) 0140 機械完了 時間= 続く 尚 d x 2 車輪運搬 X 3 / 多子作業部隊等三脚抱 化E-1L= 続く	11-30'夜向 化E-1L 実入= 成功 (20m)
12-1	1. 排水 1500t 水量、水上密度 20Kg 水中密度 9.5K 2. 船底塗覆ノ用意 水中噴霧器等可施可現 (サルボス 6' 1段4) 3. 初心圧縮 150m 4. 電気、空中線、外被塗装等 10cm 取下ト脱定 5. 船底板水中喷霧器等、木棧橋 6. 防錆塗料及取扱裝置等ノ脱入 CD32 未洗刷船底 9.2m= 続く 補修(既洗刷下9.0m) 11-2 内地= 通航 9.2m 本年 2-16 洗刷 10-25 洗刷 23m 足場修復修理 力 11月 13日、漆喰等付 除去、方等の修理、無十中九飛沫等海水 利用等ノ採用 脱力等立Y船底、船底等 第二之大底板方等ノ修理、如 タリ、帆板地等、本年 3-4月 10m以上 11月 25日洗刷 11-29 分1件、7件 漆喰等修理、船底、船底等修理 持立船底及帆板、各連接等	引急干渉向 船底等修理等入手 内面付九脚 船底等修理、脱力等 自2-2上8名同様 自下1脚洗刷後洗刷中地元季節風 子之色等持向
1530	多子作業 第七次航行部隊 第3、第4航回 (第4回) 9. 140、159 支張等改修 1~2 脱入 7段7	途中改、漆喰等塗装等 2230t 全船脱入オルモウ 実入

19-11 ~ 19-12

31

0341.

		712-3	(回収1回)
Y外出 4時半		同船団小今朝 0030 機掃隊作業中 敵大型 d3~4機飛来機銃撃	只今追跡開始 残り数機未撃 被爆 沈没 燃 片幅航行 竹
2	0430	魚雷作戦 1回飛水木爆破夜間攻撃 機動力車両爆破車両攻撃 古連24高機・向南下中、はか丸(A貨物 9,500t 部隊 3648車両 50舟艇 60機銃) ・奄美大島 NW 120° 方向航行中 密集攻撃 受	VR 沈
0945	V	同船団後卫中、CD 66-11 航行 撃沈 100m 追近機 D.C (21ヶ) 7加7	击沈確實
Y外出 4時半		魚雷作戦 (1) 那云級駆逐艦 33-3-2 敵機中止し神 賀丸 ch 45-11-30 セ7 車両一機 航セルコト利明 (2) 第七次第一機団 (SS 5号機) 11 1530/2 スニラ帰着 (3) 第七次第二機団 (SS 4号機) 11 予定時間 2100 三笠丸 2機うち2機到着 3	途中事故到着機
0600 機	0130 ~0210	竹内 (2) 第七次第三及第四機団 (竹内駆逐艦 3) ・機銃砲3 0300/3 加7セ7 帯 43 二向ナ脱出中 機団後卫中 CD 64-11 朝南島東方海面 二段攻撃、密表シ当タ	竹内神旅宮 = 被爆アリ 沈 マニラ近自力船44号砲、火炎筒 駆逐大型d4機撃同1度失敗 Tb 2度沈
		スラハカ方面 = 攻撃行動在途路の速日ロボク ク海哨、出没確認立シ攻撃ス	去ル 30日対潜船起動中(?) 1隻 確定 = 出沈れ有報去ル
4	1600	① 院攻 X 4 チゾウ、キシラコエ、水道(カガラ港 タブロバン港)、水道)西口 = K2機雷(浮 流機雷) 14ヶを敷設 遂、後判因ル威ケン攻撃、状況 (1) 2日水雷敷設 6t "カモテス上機銃射撃 及 Tb 定點攻撃 (2) 3日 2400時 36方 = 基本セル、各丁2枚 f6×4(浮雷) 天山X1 槍早X1 速火材 判攻撃 = 同ア (3) f9×2/4KF (1機運中叫引追ハ) 11 4日本明 2003 日付書 60kg×47 命中也ナ	小型T×1基撃同1度破 大型 Tb ×1 击沈 f6浮雷半導送 天山 X1 命中也ナ 轟毛、攻撃状況不明
0710		B×4 CX4 OLX10. 2Y ワル水道入出 得撃傷、兩端機、山甲名残路、南車方 = 林牧3200t 2機、2機 天昇山、出若山、月光、便客、1030 機、山甲、130° 60' = 南車運中、d×1 72+7	基盤ニツル水道在油中、420t a3×6 TB30 11型艇艇基 1地 10.50 f4×25
1030 29		マニラ近海 = 向ケ航行中、八幡丸及僚 衛艦、暴風、180度航向、NW 200' 距離	對潜、CD = 寶源中 1405 時段 被雷轟沈

19-121

312

0342

放下、刈り付
落叶、刈り付
落葉、刈り付

5	方子連続敵立、攻撃予定		八九九 被留立回=級日進=級日加 見立木=至立木之ノ火分也
	同上護立中、油剝防の張表立回立ス 被留=未況也スノ如ク		
2030 02 ~0900 6	✓CD66、ch28、奄美大島西北方海面沿岸 約20×2マイル北協同運動活動の本拠地 加7		云、1隻ヲ撃沈、他、1隻ニモ損傷 1機宣ヲ与へ居ル機器
6 夜	+lo×8(3AF) ハンハノ攻撃、宮崎電局等		
	IEF 編成一埠節		
0305	力取西方の空域中、水陸路ハ C, d 丁寧約80度叫成山郡隊がオルモウツ 南方約35度北上スルヲ想圖		大部路、0800 機モツク博内=侵入 化ニシテ、マルエラ(オルモウツ南方)ニ好 シ破壊開拓地、門在即路の間、土 洋ニテボシ破壊、又印路、全力攻 ヲ攻撃埠節中
7 0330 ~0400	+lo×8 ハイロノ敵回攻撃(1機命中叫引直ス) 比島方面、作戦二就半 敵ハ台湾沖ハ既攻撃済大机換算ヲ元顧及ミテ、軌跡ニリ得方面ニ強カニ注入	23連、地雷 75機空上	拂屋ニ 被弾、
	近衛、 本土防空作戦二回シ		近衛、 本土防空作戦二回シ
	近衛、空襲ニ付し本土ノ踏汚シ度、空襲機能ヲ確保シ爆撃能力ヲ維持強化スル、 機1号作戦目的ヲ完遂スル上ニ於テ空襲 敵ハマリヤト、及支那方面基地ヨリ B29ヲ攻テ本土空襲強化、並周辺對外諸港水陸空港 スル最止KDB 及テ空港ノ空襲ノ度、若ヘ局地暴風、特=12-8 前後、右1内前者、空襲ニ付スル 本土ノ避難地外、另行空襲目的、敵基地ノ奇襲攻撃スルコト、勿論、後者ニ付スル、風ニ付 機會ヲ捕獲シ敵薄弱空母、击滅シ固ル、高内地略在、火力及防空機銃ヲ 第一表及第二表、適応急、砲備シ之ヲ避害スルコトニ于砲中		
	第一表		
部隊	兵力	兵力配備	作戦要領
E1AB W1AB	小型機 150 " 50	関東方面 江浦南部	1. 12-6以降、晴天強化 2. 大型機、夜向黎明着落時使用
神武隊 丁部隊	" 30 大型機 80	四國、西北部 九州、南部	3. 小型機、特攻トテ使用ス
計	合計 130		
	總、内地近接縦沿線防空、兵力以作戦可能、モハ攻撃半面中右以外八関東 方面ニ避害計画中		

19-12

313

0343

柳文

本土防空室 噴霧機器 鋼鐵鏈 (25 mm) 上覆1章

第二表 本土防空警戒指揮機銃(25mm) 搭乗員

記録地	数
中島武蔵野新工場	96挺
全 藤澤工場	36挺
三菱(元赤色)機体工場	36挺
愛知機体工場	24挺
鈴鹿空廠	36挺
計	228挺

12-6 中=記録室 1回目

0920 ~1100	dx30 Tx30~40及上陸用舟艇送給室D 院船「PUNGA」=揚陸 S 1220 N 33°3' 沖ノ面下巡査	GKF=丁 15時以上、兵力判斷 GKF、T部P8=3, T1テ方面放送 H23 改め30トモ=2TB (B及 黒川川辺=支障船2, 3, 4等)= 支障船2TB=過去侵襲船2TB 3命令
	機動=向う逃出中川に多次作戦第8次 奪還部隊(梅、桃、杉、oh18 oh38 船 11号 Tx4)、Pルベラ方面=放	奪還部隊 S 1125 E 130° 放置

	船艇復入中、朝鮮=船 2隻、空襲更1000 人以下(以降島西記述)=入泊 機械船 只手追船、機主機械=着正港或路、帰港 =3航行) 機械P8、1030~1250、向子船×10 放置 B24 ×1030ト反対シ梅=若干、被爆、後5枚=3 小艇被爆津河津リ事務中、機械P8	空襲中、軍事行動、機械船移動 1本搭載
1731	43dg司令ハ、船艇=3隻、直=反対航行トロ、= 入泊中、航路、状況、調査、状況、年少ハ Tx1テ揚揚シハ10ロンドル、鳥南下護衛 ルルの命令	
夜26 ~朝7	高橋24「223テ向ヒツアリシタク34船 團敵山×給4隻、車輌装備、資材搬入相 助、船組が被爆、多ケン機械	現在迄=第1回戦(11月) 赤原洋九(A級5463部隊220号)沈没 仁洋丸(A1級6862部隊1308)沈没 安國丸(C級5794部隊315石井 戦車車輌及便車荷155)--- ---夜/6被雷負傷、大部退船后 漂流 1130 1141ソウ=1軍毒 投金鋪
8	B29×60~70 奉天(-即大連)六景島 約1時間C4x4 dx6 破壊船、南方1~13K 1向、船や船側機器及び船底破壊船 空襲前南下	0900頃~1450頃 サハル方面=軍艦 叫上利新田314m級、直進 153° 破壊船、東京

19-12

314

0344

(三)

0730	✓ 俊容湖附近 7日 10:00 = 家入村 CIV 多号节 8次 猪追部落，TX 4 及 11 号路追捕八 合浦大坡 31 饭连 = 莫尤尔 鸡城即阳山集，故改之 16:40 次上，因求之曾午移 = 拍平， 被害黑加2 村 B 2000 级 / 7 猪被屠，省 22 八十，物证该节 2 本植 2018-0400 遇自动者被植命 = 1 例 2 = 1 例 投中		数人 x 5 丰盛，立杆表记
0800 退	✓ 丽南河 2 = 7 = 向左绕山中，松穿孔 (C 2850 善排) 木儿木木北面靠 99 ✓ 沈 = 放手放土，放走 3 例		沈设
0130	✓ 乌云河 内地：向左绕山中，牛磨 距母鸡南西方约 50' = 放手放土， 香末 7 例，		2 本命中 CIV 13 K 片假脱行 弓绳 1000 支佐左逢 = 入龟
0820 滴降	7 例 = 放手放土，通行路，威震 杜德		7 日也 7 出走 0950/8 PM 13, 175° 4' = 放手放土，表沉 2 (2 本第 脉) 水样声音 1 驱风)
0930	第 81 号甲探的 7 = 1 情报		
9			

7400~8600

$d \times 8 T \times 14$
 $17^{\circ}-10 = 7^{\circ}$ 入
人立 挑門

	0200	d 横女島, 60°30' = 方北子 鋼脛前 = 1本被雷	1000 長崎 = 1 声春
	⑨ EF 8編成 (1KEG 駆除 因為及 101S GEB 及 PGS 2部入 1, 2, 3, 4, 6. 被工船 国内部 商船 PS)		
	1020	一時 杜記心門に セア一 マルセウス 進行路 T1 10連搭 1隻目	
10	1415	多摩作戰 第九次 特務區部隊 三ヶ口島 東方 = 方北 B24X1, 被接觸 1隻 至並用飛地 = 向午進击中	
		多摩作戰 第九次 特務區部隊 三ヶ口島 于拂曉, 守定村 T11 日報便 = P/GKE 由「マルセウス」室入リ 命令 T1 2030 到着 13 定 3 次 = 起事中	
	1113	五午易沙 P3.8: PBY 等, 被接觸 1隻 30分又到翁之ヲ 被退セリ	
	1625	1100レホルズ沖 = F4 LLX37, 浪速 3隻 TX2、大火災, 航行不能 拂晓部隊特務軍便、OKE 及卯月ヨリ T1 護衛江ノ浦海防軍 324 11月、横 及東洋艦 2隻 + 航空機 2200 マルセウス 空襲入場機商船	
11			

19-12

315

0345

0042.	B29弾御侵入1隊弾302発 附×1機 八九月上空高度1500m=方々敵大型X/ アホ機敵機命中弾、落水此線零ヶ江 銀山ノ澤入	
0200	多号作戦 dg。敵大型X×4機上、敵見之下立断中 、模様ナ	0200 晴及 0600 晴 オルモク 9時止 →「宁波」急行中、トトスノテ 制空權敵機飛行、晴方々、敵 機多号作戦、ト遇。
12	航國上空飛中、9時半迄飛行、第2次 迎撃中5機 2002 P38, F4U各4Y 、攻表ノ機降下行、2722 究入 模様8名3名23±10分後全=就了	
0100	多号作戦 ① オルモク=空入2u SB140 "機接戦 附近混戦、模様機乗組人員就車全部 機搭、敵大型X機降 又月(東京近郊防波堤東側)ト共ニ空 事接戦中+7 SB159 " オルモク=方子陣上船、犯 去り度々大破 ② 同舟(消息不明) ③ 1000ボンノ機止=空入キ定カソX3 印月 Chx2、模様機乗組員不明+7 空知丸及 Chx2 " 異常マラニ向 接戦中=7基、火災、十音響不明	12、相ノオルモク接戦、方子陣上空 飛行/12 1000ボンノ機止=向北飛途中 機搭乗組員乗組船、有機接戦 ニ引退ヘシ崩れ再び、敵上空戦 元、14時45 2230 晴 夕月沈没(同空飛空) 同及 8B140 12 時富ノフ 大手川河口、曼愾丸沈没(1022年)

0815	(1) エア=駆逐巡洋3隻 SB9 ハチ改 島西方到マニラ、=向々飛戦中 am/3KEG 高千穂丸(342T) " 駆前橋 車方71=航行、落水此線零ヶ江 地盤上協同連絡攻撃シテフ	▲
1000 晴	相島西方、機雷艇=敵上駆雷艇沈没 等大約11報	▲
1330 晴	汽笛、夜摩根ハ「ギルエラコス」港内 (3257才島)地西端)=BX4CX1D.d×20 T×10 T中×15 基、地雷10基、火成ノ改 大東島(民國)石打物、=仰上ア中ト/ 報告乃	地フリ出没地晴1機 1900 晴 同・島内ノ夜摩根=敵駆雷艇 沈没、上空、形跡ナシ
13 夕	相 SB140 マニ着 印月ハ夜行江后依然消息不明	兩機号相当地被更に受けテ機 擱、相ノ序接見 机セク機=空入被脱手立既状況 既上判明
0230	▼夜摩12 機104 高机、南車200'附近 =7 仰上ア中、高表ノウタ 2200 晴	沈没
?	▼夜摩12 機104 高机、南車200'附近 =7 仰上ア中、高表ノウタ 、高表1本ノ高ケ瓶附近、命中自己撃散 ノ空 ③ 敵船船頭80隻(ミタナオ、海川5隻) 海=侵入	一時既山不範トナリ20 0100 晴 ニテ航行中、本艦未

19-12

316

0346

	<p>CE島方面、作戦指揮室=東洋 GKDDB 11月2日第三回後半終了 交換、航行、方面作戦・支援中カリシード 飛行場、空襲の成績=1月21日-25日 向、海上現地</p> <p>CE島方面、実効兵力 100% 説明</p> <p>⑤-海上兵力=北洋沖海路以南兵力微減、往時、如半船隊編成中、兵力引導等 航行作戦、主陣=航行、海上空襲は、掩護 揚水機、大部、回天機載</p> <p>⑥ 昨日至 30号機=进入北洋の兵力、約150 島地元平洋軍上制断 ⑦ 1月1日航行、假定方針通 (1) 空軍方面、即在兵力、一部空用 (2) 航行作戦下に向転主陣の兵力を以て、海上演習、北洋沖海路 、遮断、島地元平洋の兵力、半兵用 (3) 北洋方面、傳授中、移動 (合計約150) → CE島方面へ投入 (4) 北洋方面、依存の水上船艇組、主陣作戦、空方色 現在南洋方面=4部軍船、括上兵力 Bx2 Cx3 d×8 (12隻中、2隻増強、半已)</p>	<p>大部、前進根據地=特設、 次斯ル動、南へ移動中、 又ト制御</p> <p>航運GKDDB事務取扱、T=180 =上岸也未定</p> <p>七月中地区島地率 88-113% 島地元平洋軍上制断</p>
16		

島地+海上兵力

種別	地域	現有数	12月間增加数	記
魚雷艇	北	16	12	
(半艇)	中	3		
	南	0		大部約9隻移動、退出可範囲に 又北洋側、多數中浦へ退出中
甲標的	北	0		
	中	6	1	
	南	4		
駆逐艦	北	18350	約400	北洋、350、中路100、 レガビー方面へ退出中
	中	0		
	南	0	(1部、1艘)	
 午前中				
午後				
1300時	敵、一部兵力 パラワン島、中央ポートアラバ =上陸の情報+、			27時判明せず
0800時	敵 GKDDB 以上機 加ス 500 ルソン島			KdB 333 在港 223 GKF=3
~2030時	全島域=西シナ半島			11 正午 10×6 基本年トス=213 3=3, 45° 200' PHD=121
1830	D112 N ≈365° 18200' + 基因考慮候			判斷
	1834午後、五時=豆リ B24×3 駆上機巡 60' 支持、1枚垂空、2枚飛ばせ 6枚、CH33、神浦舟、一括平、初速充満、仰角15度+13度=正院+13度			
19-12	1100時 文島西方格雷地敵立脚雷、沈没叫算大約ト報到			

317

0347

機械
敵上陸

			(第11回)
0530 時	C.d×620 T×3330 327260 向 向 H240 220740 頭上陸用機、機械 GKF、敵、敵機作戦、ルイ、敵方面 = 指向 150 機、敵、敵機作戦、ルイ、敵方面 = 指向 = 敵軍攻、敵合、下級) 7 下 高 = 3 在泊合 dks 7 2YB 15849 T = 入 150 機、敵機作戦、ルイ、敵方面 = 下合 2YB(是柄 4sf 大定及 dks) am/15 043213 = 入泊補助、3合へ(吉松 中。	鎌田幸雄中、水火空爆報告	
	敵 Kd/B 依頼 ルイ、東方 = 在	103. 3部、1人、カツヒロ 7272 空 = 150 200~ 手袋 113. 方々 SB104 沈没	
15 2030	桃木 高樹 = 向上陸用中 323. 沢西 210 機附近 = 敵子 敵立、雷轟 受、轟機	148. 四次、豆島施設 50% 敵駆上 機ト交戦、轟空 X 5 車被撃落、 結果、空母 4 艘、艦船 2 艘 弾 10 敗、受、前記体験 = 相 互、被空襲	
0930 時	137. 4500m 彩雲 17n H = 4500 24 カルシ一復		
	✓ 2h60、夜戦 1-ガエノ西方 120' BLAH 1. 横面 = 敵子 3隻以上、敵立、低飛 2. 敵子、易取、夜戦 2200 次及 2300 次 未の空母 X 3 1. 敵空 = 敵、上級告警 彩雲 = 1夜 ウルニ一倍空襲		
0030 時	1号暴風 (B 2111t)、反島、北西近距離 航行、敵上、雷轟、ウ	沈没	
16	甲子絆 (A' 7400t 実航) ルマニ 司令部 入ビクタ子 = 敵子、敵立、大暴風、度々沈没		
17 1030 時	0930 ~1000 1120 向 (3472島、敵上陸用 機) = Td × 2 上陸用機 X 8 (3422機上、1120) 及 L 又、小飛艇 8隻、轟空 X 24 機 L 型機空母 1本地北 = 1機起飛 3242t 780 1307. 7月空母 彩雲 X 1 7324レ 1空 1135 大迫力、不規則	空母空 X 7322	Td × 4D Td × 20 (78247322) 空母飛行 Td × 24 Td × 10 C.d 10 異常、地 18 20
18	1300 ~1450 32829 × 3080 主力攻撃、敵方面 = 一部 以テ大阪神戸、鷹松方面 = 半空四	11sf (76258 - T攻撃) 東方	

19-12

318

0348

	日没時	切手青地印本字6枚×1基、切手筒内 端附近=於テ数Tb×4 Tx×6 並用 多枚當足 2015年上攻击手取行ス	墨煙×1 白灰墨×1 ラジカム (爆薬音) 聞取セズ
	夕刻	コツル水道=泥×3W 防波堤 aTx×6 Tb×6 Cx3 dx24 Tx34 (合浦) Tb×6 1/2航程×40 Tb×39	
1638		西福島在島、北之西 230' 海底=於テ 船山、船山シウケ 1700' 遠=沈没物 横江紙橋、時雨、雨風設立シ若葉 水素、硫化水素、硫化水素	④ ×30基 車輛約60 標準機器 各局、總1個軍事機器 800台 合1500台 1500台機器 機器 輸入、本社、日本雨
19		在支那軍火九航空流	
1100 ~1300		✓ 2000m(B-2200) 223° 西方 300' 海底= 35° 60' Y(B-24型) 上支那軍機器	15:25 沈没
1345		951+9' Y 陰山側面加島面=於テ放 射上水道見 25度×13.7公尺高さ=正赤 放KdB、一部又23328部地区=東洋	サハリ80-71 1930年沈没機器 次第 2055台 F4U×8 早雲 戦隊被災
20			
2040		✓ 向宮、三亞東方 250' 海底=於テ 放土 1/2航程×6	射出不規
2130		043± 223° 780' 400'=放大部陽面進中 航路	
1350 ~1450		放Tx2 プラット、プラット面面同(2243件) 押海、支那山脈 5度=航路PSM、航路PSM	GKF山脈在瀬戸
0420		宇都宮、fcd. 7-7, 67° 285M=PSM 航路	043± 1/2航段上会也 GKF八瀬上門 =5度=支那山脈北端成ノ山=2
0700 ~2240		西側軍用道路、放Tx約40度±1 海面西側面=2420' 8度=向北北上中 航路是8度標記	
21	1340.	f ² ×1 317m苏 Pトミル4-1直角	
0137		✓ 向宮測量放土、霧散シテ三亞、東方 270' =方23度=沈没	吹田、被災、ウナタマ
1310		又即= B24×2 平装	校舎2件已下落下
21	~終	月夜延×6 天山×6 f ² ×2 直接=2420' 口門内上陸集母4-本丸沖は根拠 航路	

19-1.2

319

0349

0100	238P = T+1 手流		機雷布設
1250 N1520	B29×101 長崎原地区平流 N1520 B29×101 地区放水道 10300' 平流		210P9 T+48 攻撃 即在即22. 117V 攻撃 24V 攻撃
0710 N1610			
22 1045	T+1 地区 T+10×44 手流		航行島叫基港即21. 117V
1120	水雷艇千鳥、伊勢崎、西方約10浬 前方に渦巻、敵走り、 航跡防護中、Y及防護艇=130' 以内		沈没
			確實=多賀城即21. 117V (12-29) (上)
1420	2109上、齋賀岸、東方490' = T+10 手流 敵大部隊現れ、本軍も機雷爆破、西方三隻 因寄り駆逐		而西諸島 流行方面=一方で小艇4隻 、手流=偏へ空襲8名犯
23 1120	轟擊船 (A' 4156 T 21900 番組) 、T+10 +14 艘=前方 游走、空襲、手流		撞沈
1030	羽雪 2V T+10×T+10×37M 侦察艇 敵機艇 1410 西方=遊走		空襲到流 T+ 大力 25.50 及 小艇 10隻 アヌリ-ト母 829×101 B24×127 其10名母=船 150' 2 134 日祝 因=小型艇 100' 在



0905 24	硫磺島二種、日本大連島大爆発 1200 游走×3 d×5 級砲射出 同側南岸=機槍作業中、T8.. 1118 急進上礁艇即22. B24×2=能移動 C、逃げ延々走り		1419 「敵ト支那」、毛根、葛 洲川原、144.0. 沈没 M. 連絡失 C、逃げ延々走り
24	1517. 機槍作業中船体損傷 大連島南岸=機倒シト+L 敵機艇 1410 西方=遊走		
朝日不明	227.0. 岩井附近=テルサ半島沖付近 3月28. 同西岸=前方、火氣取扱不良= 船火失火、海引火被爆		震津 18年 75尺 PG年 14英 復失 死名、其ヒ露18-90名共其他 500 陸軍10万、出走の既、既、外 8415= 在り、南蘇小口爆破8年乗車=引火 陸橋軍假多金 8株金鏡也
0218	3000 24V 地方=テルサ、雷暴、走り 沈没		
1155	T+1 方面テルサ付近、マンカウ、港内= 鉄艇30 同13外=4 T 地図=小型 15' スベオ、吉野丸、空母 Y、T+1000 岩井、東方		同 50'、走り
1558	5000 C×8 防空 d×6、後卫即22. TX 20 放送、基盤走り		
	航行、24V 方面テルサ	(v)	

此
後、
復
舊
事
件
→
一
般
化
例

19-12

320

0350

札記
録

(備考)			
夕刻	277111 水面敵機 (望遠)	Bx4 航巡×1 d×14 Tx44 8240m×8 小艇艇×19 Tb×16 829237m×9 小艇 17m×3	
	~04/12-13 12 Cx1 d×2 w×3 ch A T 2442 小艇×2		
0945	~04/12-13 东方方面 Bx1 d×2 w×3 ch A T 2442		
午後	25 2000 時 即ち、小艇艇×2 潜水 サハリン敵船空基地攻撃、夜昨日有底蓋 (物) テ出港地銀河 5 艘×3 プリート船 1 艘	17時 大火災 (50t 船方) 潜水 潜水 (某地) 基地船艇=小火災 潜水 銀河 (内 1 艘) 不明着地機 底蓋×1 未帰還	
0230	午後 順風舟 (A 速 42.77 ‰) 32-47+22 潜水 方 190.12 = 方 27.47 船 1 艘 水上機 1 架 (アラハヤ) 附近 = 方 27 敵兵×1 確實の表示	潜水	
0130			
夜	(⑤) 水上部隊二艦にシドロ機突入決死		
26	2YB, 2柄大洋及 d×6 (P 速 2dg (高霧 頭霧)) 潜水, 桩, 横 1302 24 九時半出港本校本校, 潜水地: 実木丸港多機因 基地船空印路合 力之=協力, 機群 V 航空=1302.24 本校潜航附近 TX 425 炮, 機小艇艇等在内 24 24 1 時附近 24 潜航附近 潜水 突入印路, 九時半出来 12 時半, 基地 23.00-24.00 予空, 13.00, 过去 12 1625 底蓋 B24P×1, 通常機×2 47+22 船 27.47, 實入 21.15 22.07 23.00 潜水 海上機 1 架 TX 47+22 出没不確, 24.00 47+22 機群之犯走, 長崎敵 10 敵機及 TB 敵機上空路, 故 Tb×1 出没 故 Y×1 未壁 基地船空印路, 水上印路, 機空印路, 24.00 25.00 25.00 潜水 26日夜逃走 25.00 27.00 潜水 27.00 28.00 潜水 又對魚雷艇追走, 逃走水面上等出走, Tb×2 3 次突入	1625 26 時	
	V 被空 潜霧被爆 沈没 及柄大洋 被爆 小艇 其地 機械群=2 機心 小被空		
2000 時	沈没物等落水 10.5' 内 3' 及主機 4' 内 2' (計 4' 外逃へス) 10.2' サハリン プリート南打撃 沈没部路, 大船接舷, 女島(男女群島), 208° 27'	80m 31号, 効果半径潜 底色, 大水柱浮脇 24 潜水 新規被爆水下潜水	
1650	27.00 27.00 水上部隊, 使用方針 現状方針=方針水上航行, 主体上之行動力→相当困難化 人員混=工作能力, 機它混=水上護卫能力, 船體增強=起火等= 撃向丸山 方針 A 及 B 大型 d, 大部 11 明年中断 Kd B 締成 27.00 27.00 任以之其向行, 一部, 千賀其地空襲人及物件, 並予尔 踏色=任以之 B, 一部, 11 月名=傾倒主色次, 車京博其地, 对大型机 防禦=任以之	同様上之主干=内地芦, 沿岸方面 新規被爆水下潜水	

19-12

0351

		機場 Cn. - 市内地 - 機場修理 - 10月1日雨後、使用方針。地下深坑中 高 C2 面方向作業中、B.C 等其他依送同方面、作業三箇月後今後、同方面、 作業、小型船舶起立上に進歩するが故に地下多量建造中、中型 d. 船渠に船 力現作業 - 未だ完成上段位。	
0010 改 27 午後		形式地質入認 P8 11 攻撃上 X 方432.1 例 (向) 11 芯色 = 大半地盤 故 TX 60 碳素等爆破 深度 CX3 dx4 東方側 同側 = 正面 1200 ~ 1329 近 B. 24 X 6 距離 11.2 定深層岩層 = 爆破射出 力加八南 = 1壁、1ス.	T7 (物体物陰) T132 (物体 一部物陰) 捕土更上 基、地被空隙
黎明前		被子作業部隊の大型機、攻撃を受ける 雨便能接合を以て門江地下、門江 門江ノ向ノ被出中判斷 Tn	
		12-27 両端長壁上 今後、作戦協定 = 地下件 機一作業、機等の行動は限らず、T0 命令場 = 方元隨處 = 既、企圖通り ノ制覇を実現する所、進攻企圖 = 抑止又 (下戦) 内戦 = 事合 = 既、降伏、夏至 (アサヒテ) 接一子机形 = 未だ今後会合の作戦指導、機械的易駆、隨處軍事部 = 有兵 火口地下被出中	
28 0940 27 ~ 28 日		被出 V. 12倍 = 10m? H. 20m 中 = 11 故 CX5 dx10 以上 + 壁 + 10m 天山 11 号テ + 10m + 10m 物理 集落附近攻撃	10425 上方 地盤 #242 等級四 = 大火災
29 2355		以下 28 日 22時 + 方海 = 両側被出ル T8 ~ 不 22 110 + 1 両側西方側面 = 2152 島 = 向ノ北上	TX (6.30 底面距離 x 10 倍 小舟艇多數 故 TX 100m の連続壁工事 (シラク、エフ、タツ、ドウ) 船体中部大破 + 断次浸水 27.27
		2F 改築 大半玄門構造 1023 1028 締成 18f = GF 11f 10f 11f 10f 2F = 8f 入 4f 及 5f = 2F 24 開平 GKF ~ 3S 解除	P/2F 立卓、 P/2F 立卓、 P/2F 立卓、 P/2F 立卓、
30		1023 締成 被南方向叫内地 = 並行送入室高物資搬 = 石油、機械 = 232W 被北方向 = 海外國、被立即壁 T. 1015 7.38 締成 2.1023 便 = 並行輸送ル 1023 原油江 CDx6 7.23 1023 7.38 締成 1GF =	

19-12

締入、計数

322

0352

金銀作成圖
P
CF
KF
機
械

(图1111)			
901f9 903f9 936f9 951f9 961f9 971f9 973f9 975f9 977f9 979f9 981f9 983f9 985f9 987f9 989f9 991f9 993f9 995f9 997f9 999f9 1001f9 1003f9 1005f9 1007f9 1009f9 1011f9 1013f9 1015f9 1017f9 1019f9 1021f9 1023f9 1025f9 1027f9 1029f9 1031f9 1033f9 1035f9 1037f9 1039f9 1041f9 1043f9 1045f9 1047f9 1049f9 1051f9 1053f9 1055f9 1057f9 1059f9 1061f9 1063f9 1065f9 1067f9 1069f9 1071f9 1073f9 1075f9 1077f9 1079f9 1081f9 1083f9 1085f9 1087f9 1089f9 1091f9 1093f9 1095f9 1097f9 1099f9 1101f9 1103f9 1105f9 1107f9 1109f9 1111f9 1113f9 1115f9			
901f9 903f9 936f9 951f9 961f9 971f9 973f9 975f9 977f9 979f9 981f9 983f9 985f9 987f9 989f9 991f9 993f9 995f9 997f9 999f9 1001f9 1003f9 1005f9 1007f9 1009f9 1011f9 1013f9 1015f9 1017f9 1019f9 1021f9 1023f9 1025f9 1027f9 1029f9 1031f9 1033f9 1035f9 1037f9 1039f9 1041f9 1043f9 1045f9 1047f9 1049f9 1051f9 1053f9 1055f9 1057f9 1059f9 1061f9 1063f9 1065f9 1067f9 1069f9 1071f9 1073f9 1075f9 1077f9 1079f9 1081f9 1083f9 1085f9 1087f9 1089f9 1091f9 1093f9 1095f9 1097f9 1099f9 1101f9 1103f9 1105f9 1107f9 1109f9 1111f9 1113f9 1115f9	近畿内地沿岸及内地沿岸方面向北移進，後衛 軍隊在敵正面及後方改航船隊向北移進，第一艦隊主力為第1支隊，下二 支隊改航船隊向北移進，一隻護衛艦，護航上之三隻一級護衛艦及二級護衛艦各一隻， 總艦隊（903f9）佐世保（951f9）若狭守備隊及15F（901, 936f9）=8隻入 北上、動機未詳上行にマク		
1300 晩	ナツルル方西=高十牛合全計45Y 該同地北方北上中判ノ前回改航 支隊		宝蘭丸 (A 5, 370 容积) 沈没
1450 晚	ハジ一括中央部=方テ紙圖後卫中 ノ奥ホシ改航上、船底多々破損 天山島一枚、多々木ノ先走トラッジ多 ロツツ南航400メートル		
朝	院西屏保ルルル東方=方テ紙圖 元本ノ二部ヲ不知、時任部隊ハ 本船強化船或テ船=3		スルカB半強化
31	コツソル水道=八日午後將空母12隻 B+4隻ノ若狭群と船部隊倍経 往泊中		
0950	CD68 白石（佐吉保西面）、南方8'方行 船山ノ探知YX1+協同堵塞ト加ヘ 氣泡油、本片差溝出之不夜行=出伏ゆ		
20-1	0700 昨日未コツソル水道=在リノ波Bx4Cx1 a8x12 dx18B小艇艇15隻出港進出 夕刻 ユツソル水道迄=八日午後一局附近=TX49 終地地盤人9 Cx1 d等山脈根々1/2ノ波 石流黄砂到Tラッジ=進出、這次威加侵襲機 ト3.7, 50'420'=敵TX1620隻 dx2隻 西航多々泥濘	110才南見張所ハ味方flo324 近3T攻撃中地圖泥濘	
1205	1230 到ガホ西山東附近=方々 dx9 TX22、車輪 スルヨ蓋見 24才打馬5速7 TX6 +2上 1650 回揚岐、車輪100隻ノ輸送船ラ セ、1波車輪送スルヨ泥濘		
1100 次	索敵機（47才出其）ハ10才、西方110浬附近 = BX3 CX6 dx10數隻車輪送船大型16隻 中型3.6隻北西進中ニテ長1段方60浬=船 身已約30隻統計中九九%覆見 マタ38A船団ハ前日サンエイ叶津沖合 ニテB25型P38型640Y、空襲ヲウク	CD138、黃形丸 (B 2832) 痛沈 明陞丸 (B 1隻 4500) CD66 至近弾=爆破若干、被撃	
2	1115 次 硫黄島ヲ出、若狭山系雲大2（扶手停遷） 中1枚、ナツアテ方面1隻	威軍15隻上	

19-12 ~ 20-1

323

0353